

池原 昭治

# さやまの今本

第120話



**水富・根堀の鯉**  
 八十八夜も過ぎ、水ぬるむ季節になりました。雑木林も、鎮守の杜も青葉や若葉となつて明るく、頬にあたる風も心地よい毎日です。  
 新茶の香りに誘われて、水富地区を歩きました。このあたりは、奥富と並んで狭山の水田地帯ですので、笹井ダムあたりから流れ出る水路が、たくさんあり、川の水も澄んでいます。特に根堀の水路は、鯉がたくさんいることで有名

です。「街をきれいにしましよ。清流と石垣と鯉の似合う街を」のスローガンのもと、根堀をきれいにする会の皆さんが日ごろから世話をするだけありまして、色とりどりの鯉が元氣よく泳いでいます。「春もいいが、これから紫陽花が咲くころになると、また見事なもんだよ」と、通りかかった老人が目を細めながら教えてくれました。  
 5月5日は、「端午の節供」とか「菖蒲の節供」ともいいます。昔からこの月に入ります

と、雨季に入って悪疫がはやり、厄よけのため、川の土手などで薬草をつみ、屋根に菖蒲をさしたり、粽を食べて災厄を払う風習がありました。  
 そのとき、ゆうゆうと泳いでいた鯉が勢いよく飛び跳ねました。まるで大空を泳ぐ鯉のぼりのよう。遠くからは春まつりのお囃子の音が、かきこえてきました。いつまでも大切にしたい風景です。



狭山が発祥の地

## 童句

童句は、自分が童心に帰って詠む俳句です。狭山市童句研究会の選による作品を掲載しています。

田に映る 白い雲ふみ 田植する 堀込 幸子  
 まず父と 背くらべする 子どもの日 金子美洋子  
 たんぽぽの 綿毛もいつしよ キヤッチボール 奥井八重子  
 宇宙服 着れば楽かも 花粉症 栗野 典子  
 母の日や 手付まねして 塩むすび 芝田恵美子  
 おたまじゃくしに 遠足の列 ぐずれたり 創始者 土家由岐雄

## 何かな？ 今月の写真クイズ

写真は、今月号に掲載した写真を拡大したものです。何ページの何の写真でしょうか？

正解者の中から、抽選で5名に記念品を差し上げます。官製はがきで広報課あてにお送りください。

締切り5月31日(火・当日消印有効)

4月10日号の答え

16ページ・ひとまち写真館の「テロ災害に備えた訓練」の写真でした。



## 表紙の写真

4月26日(火)露地物の新茶の初摘みが始まりました。生命力あふれる緑一面の茶畑の中で、摘み手は、和気あいあいと今年のできのよさを喜びながら、慣れた手つきで新芽を摘んでいきました。この日に摘んだお茶は、早速製茶され、29日の狭山新茶と花いっぱいまつりで湯茶接待などに使用されました。



狭山市公式モバイルサイトのQRコード  
 QRコードに対応した携帯電話で読み取ると公式モバイルサイトへ簡単にアクセスできます